取扱説明書

DAYTONA corp.

*取り付けする前に必ずお読み頂き、内容をよく理解して正しくお使いください。
*この取扱説明書は、いつでも取り出して読めるよう大切に保管してください。
*この商品もしくはこの商品を取り付けた車両を第三者に譲渡する場合は、必ずこの取扱説明書も併せてお渡しください。

COOLROBO Easy Talk3	適応車種	商品NO.
	汎用	91684

*ご使用前に取扱説明書を必ずお読み頂き、内容をよく理解して正しくお使いください。
http://www.coolrobo.net/easytalk3/img/common/easytalk3.pdf

■　ご使用前に必ずご確認ください■

※ 取扱説明書内の注意事項を守らずに使用した事による事故や損害について、当社では一切の責任は負いません。
※ 商品の保証については保証書裏面の保証規定に沿って行っております。保証内容をご理解のうえ、大切に保管してください。

本書では正しい取り付け、取扱方法および点検整備に関する重要な事項を、次のシンボルマークで示しています。

⚠警告	要件を満たさずに使用しますと、死亡または重傷に至る可能性が想定される場合を示してあります。
⚠注意	要件を満たさずに使用しますと、傷害に至る可能性または物的損害の発生が想定される場合を示してあります。

実施	行為を強制したり指示する内容を告げるものです。	禁止	禁止の行為であることを告げるものです。
法令違反	条件次第では法令違反となることを告げるものです。	その他	その他の警告及び注意を告げるものです。
分解禁止	表記の禁止行為を告げるものです。	水ぬれ禁止	表記の禁止行為を告げるものです。

⚠警告

- 航空機内、空港敷地内、中継局周辺、病院内では絶対に使用しないでください。(電源も入れないでください。)運行の安全、無線局の運用や放送受信に支障をきたしたり、医療機器が故障、誤動作する原因となります。
- 病院等の医療機関では電源を切ってください。医療向け計測器、心臓ペースメーカー等の近くでは使用しないでください。医療機器へ悪影響を及ぼす恐れがあります。
- 大音量で使用しないでください。周囲の交通の音が聞こえる音量でご使用ください。事故の原因になる恐れがあります。
- 雷鳴が聞こえた場合、ただちに使用を中止し、安全な場所へ避難してください。落雷や感電に見舞われることがあります。

- 分解、改造、修理をしないでください。火災、怪我、感電、故障の原因となります。修理の場合は、弊社またはお買い求めの販売店にご相談ください。

⚠注意

- 使用中、保管時に異臭、発熱、変色、変形などが発生した場合は、ただちに使用を中止し、弊社またはお買い求め販売店にご連絡ください。
- 高温多湿になる場所、熱器具等の近くでの使用放置は避けてください。本体の変形、発熱、発火、破裂、感電、故障の原因となります。
- ボリュームの設定に気を付けてください。突然の大音量、継続的な大音量は鼓膜の損傷や難聴の原因となります。
- 気温の低い場所から、室内等へ移動した場合、本体内部に結露が発生する場合があります。そのまま使用すると発熱、発火、破裂、感電、故障の原因となります。
- 自動ドアや火災報知機の近くでは使用しないでください。自動ドアや火災報知機が誤作動する場合があります。
- 本商品の電波が他の通信機器等に影響を与えている場合、ただちに電源を切り、影響を与えない場所でご利用ください。
- 本体は走行中にヘルメットから落下しないように確実に取り付けをしてください。
- 本体に強い衝撃を与えないでください。故障の原因になります。
- 油類を付着させないでください。ガソリンやオイル等が付着すると、表面の劣化や故障の原因となります。
- 本体、マイクのフレキシブル部分には無理な力をかけないでください。可動範囲には限度があり、無理に力をかけると破損や故障の原因となります。

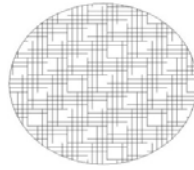
- 本体に手を掛けてヘルメットを持ち運ばないでください。本体が破損するばかりでなく、本体が外れてヘルメットを落下させる恐れがあります。
- 接続コネクターは、コネクターを持って確実に抜き差ししてください。ケーブルを引っ張ると破損や故障の原因となります。
- 本製品を取り付けた状態でヘルメットを置く際は、本体に衝撃を与えないように注意してください。

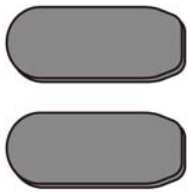
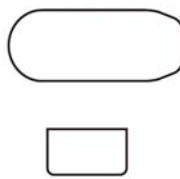
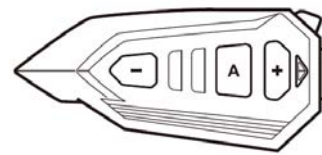
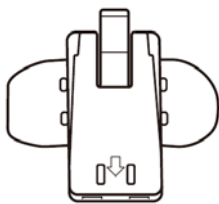
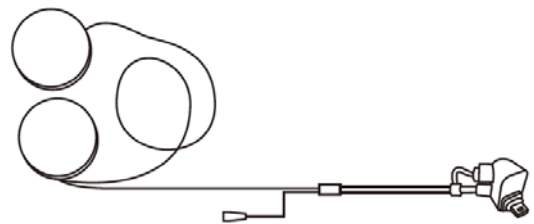
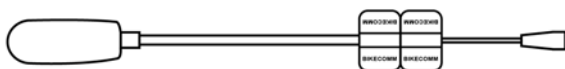
- 本製品は電波法に基づく技術基準適合証明を受けています。日本国内以外で使用する場合、使用する国の電波法に従い利用してください。
- 運転中の使用に関しましては、事前に使用地域の法律条例等をよくご確認ください。

- 水がかかる場所への放置や水没はさせないでください。本製品は防水仕様となっておりますが、長時間にわたり水がかかる場所での使用はお控えください。特にマイク、スピーカーは水に濡らさないようにご注意ください。また、濡れた手で接続端子等の脱着は行わないでください。本体の発熱、発火、破裂、感電、故障の原因となります。
- お客様の誤った取り扱いが原因の浸水による故障は、保証対象外となりますので、予めご了承ください。

- 乳幼児の手の届かない場所に保管してください。付属品を誤って飲み込んだり、怪我の原因となります。
- 本製品を定期的に充電してください。本製品を長時間使用しない場合でも、１ヵ月に１度を目安に充電を行ってください。本製品を使用、もしくは充電せず、長時間保管していた場合、バッテリー性能は劣化します。
- 本製品はリチウムイオンバッテリーを使用しております。リチウムイオンバッテリーは、特性上３００回程度は繰り返し充電が可能ですが、それ以降は徐々に性能が低下するため、使用時間が通常の半分程度になりましたらバッテリーを交換する必要があります。
- お手入れの際や充電完了後は、安全のために必ずＵＳＢソケットから充電器を抜いてください。
- 本製品に作動対応している携帯電話機や音楽プレーヤー等以外の機器に接続しないでください。本製品または接続している機器の故障の原因になります。

商品内容

・マイク固定用面ファスナー
X2 枚

・スピーカー固定用
面ファスナーX2 枚

・スピーカー位置調整用
スポンジX2 枚

・ヘルメット
取り付けベース用
面ファスナー（オス、メス）

・ヘルメット
取り付けベース用
粘着テープX2 枚

・COOLROBO Easy Talk3 本体

・ヘルメット取り付けベース

・ステレオ対応スピーカー/外部電源端子

・フレキシブルアームマイク

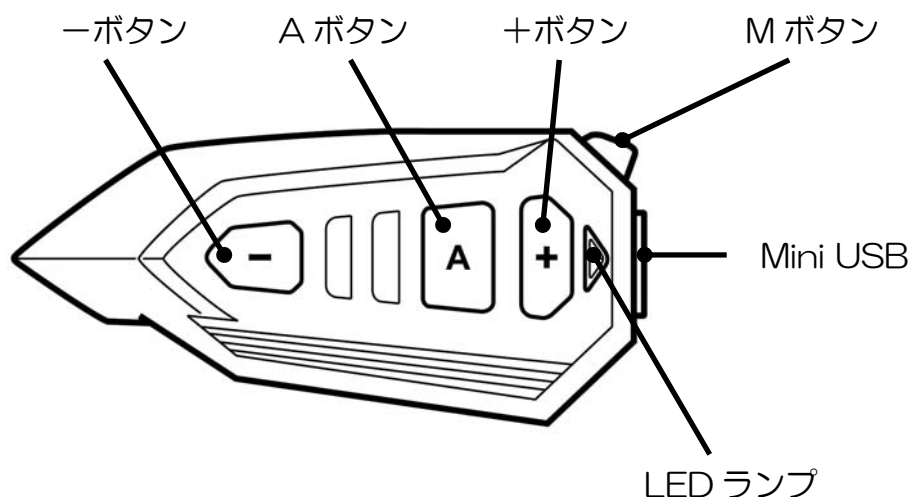
・フルフェイスヘルメット用マイク

・充電用 USB ケーブル

Alcohol
Prep Pad

・アルコールクリーナー

（上記は COOLROBO Easy Talk3 1unit の商品内容をご説明しています）

本体説明

取り付け方法

次の通りヘルメット取り付けベース、スピーカー、マイク、本体をヘルメットへ取り付けてください。

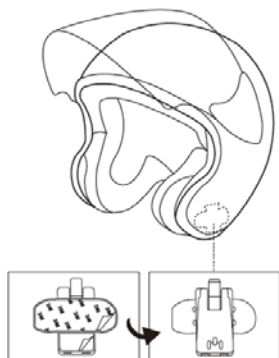
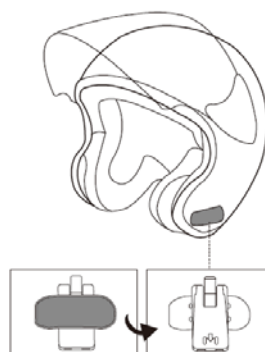
１．ヘルメット取り付けベースの取り付け

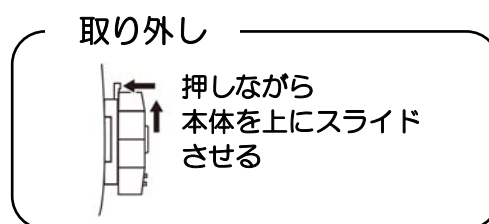
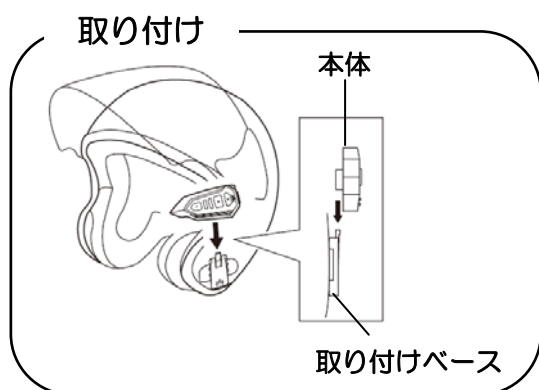
ヘルメット取り付けベースの取り付け方法には両面テープまたは、面ファスナー貼り付け方式の２種類があります。ご使用のヘルメットタイプに合わせお選びください。

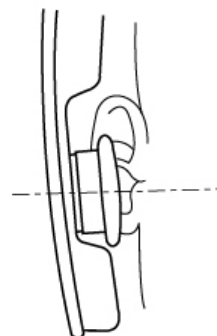
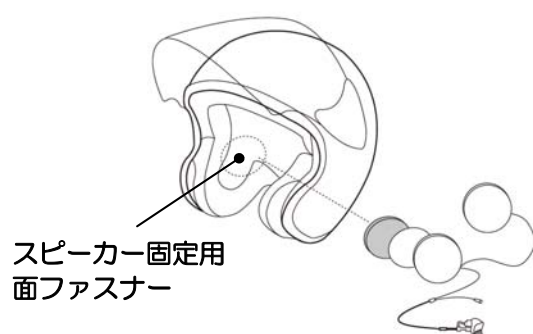
⚠注意　※粘着性を損なうおそれがありますので、両面テープの保護シートは取り付け直前にはがしてください。

ヘルメット取り付けベースへ両面テープまたは面ファスナーを貼り付け、その後テープの保護シートをはがし、ヘルメットに貼り付けてください。

⚠注意　※貼り付ける前に、取り付け面の汚れをアルコールクリーナーできれいに拭き取ってください。
※両面テープの貼り付け強度は、２４時間以上経たないと本来の貼り付け強度が出ません。

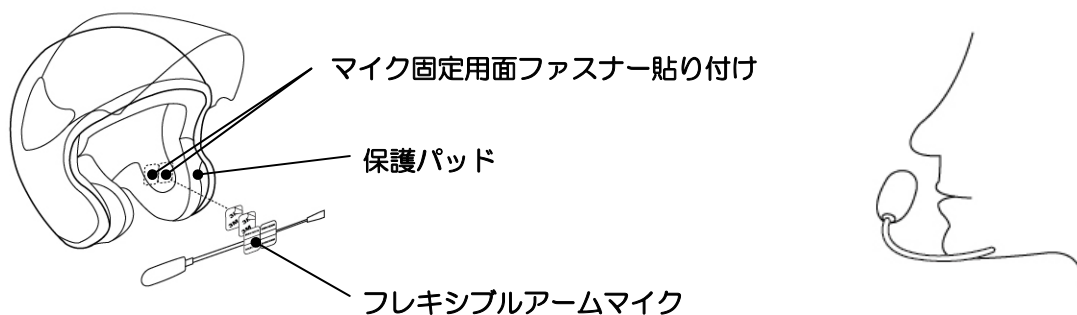
（両面テープ貼り付け）

（面ファスナー貼り付け）

２．本体の取り付けと取り外し

ヘルメット取り付けベースへ下図のように本体を上からスライドさせるように取り付けます。ヘルメット取り付けベースのロック爪が、本体へしっかり掛っていることを確認してください。
取り外しは、ヘルメット取り付けベースのロック爪を押しながら本体を上側へスライドさせます。

３．スピーカーの取り付け

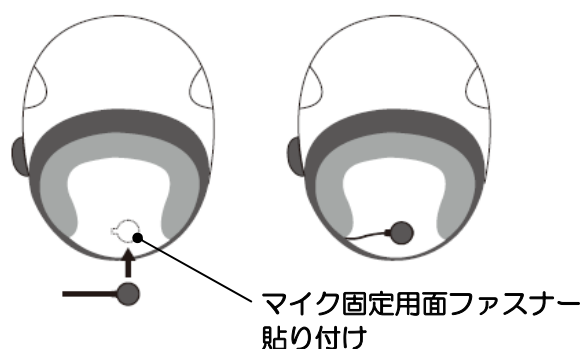
1.ヘルメットを被った時に両耳の位置にくるようにスピーカー固定用面ファスナーを貼り付けます。
2.スピーカー固定用面ファスナーへスピーカーを固定します。

⚠注意 ※スピーカーが耳の穴から離れると、音の聞こえが悪くなりますので、スピーカーが耳の穴近くにくるように、スピーカー位置調整用スポンジを使用してスピーカーの位置を調整してください。
※内部に耳当てがあるタイプのヘルメットでは、内装へスピーカーを組み込むことにより違和感が無くなる場合があります。

４. マイクの取り付け

（ジェット式ヘルメット）

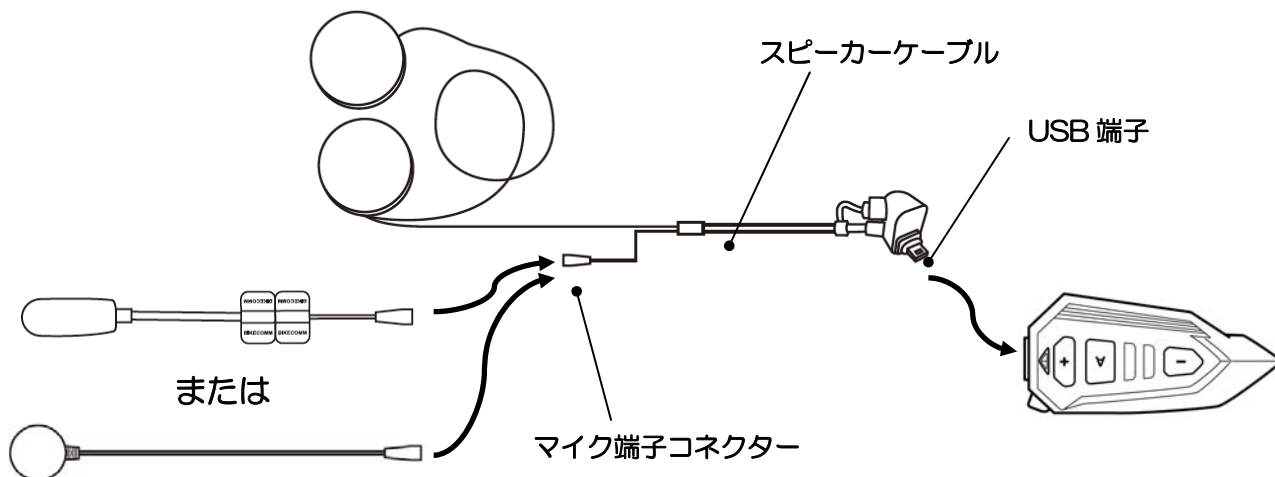
1. ヘルメット左内側の保護パッドを取り外し、マイク固定用面ファスナーで図の位置にフレキシブルアームマイクを貼り付けます。保護パッドを元に戻し保護パットでフレキシブルアームマイクを挟んだ状態にします。
2. フレキシブルアームマイクとスピーカーを接続します。

⚠注意 ※風切り音の防止や VOX 機能を有効にお使いいただくため、フレキシブルアームマイクは口元から約 1～2cm の位置にくるように調整してください。
※黄色のテープが貼ってある方が口にくるようにしてください。
※貼り付ける前に取り付け面の汚れをアルコールクリーナーできれいに拭き取ってください。

（フルフェイス式ヘルメット）

マイク固定用面ファスナーでフルフェイスヘルメット用マイクを図のように貼り付けます。フルフェイスヘルメット用マイクとスピーカーを接続します。

⚠注意 ※貼り付ける前に取り付け面の汚れをアルコールクリーナーできれいに拭き取ってください。

5. マイク、スピーカー、本体の接続

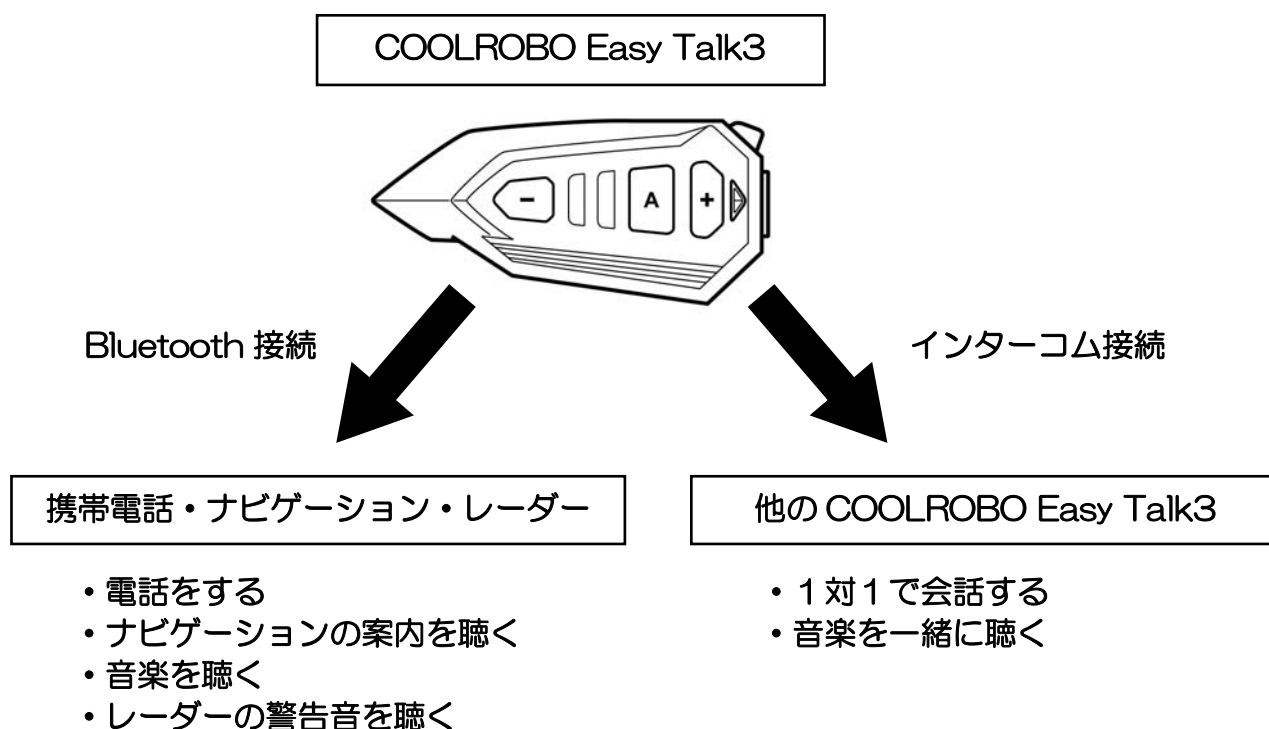
1.使用するヘルメットにより、フレキシブルアームマイクまたはフルフェイス用マイクを選択してスピーカーケーブルのマイク端子コネクターへ接続します。

2.スピーカーケーブルの USB 端子と本体を接続します。

⚠注意 ※USB コネクターは本体へ確実に取り付けてください。取り付けが不十分ですと防水性能低下し、本体は水が浸入する恐れがあります。本体へ水が浸入すると本体を破損する恐れがあります。USB 端子部分からの浸水による破損の場合、保証対象外となります。予めご了承ください。

COOLROBO Easy Talk3 でできる事

携帯電話・ナビゲーション・レーダー	他の COOLROBO Easy Talk3

- 電話をする
- ナビゲーションの案内を聴く
- 音楽を聴く
- レーダーの警告音を聴く

- １対１で会話する
- 音楽を一緒に聴く

使用前の準備

1．バッテリーの充電

付属の充電用 USB ケーブルを COOLROBO Easy Talk3 本体の Mini USB ジャックへ接続し付属の充電器で充電を行ってください。
バッテリー充電中は LED ランプが赤色に点灯し、バッテリー充電が完了すると青色に点灯します。

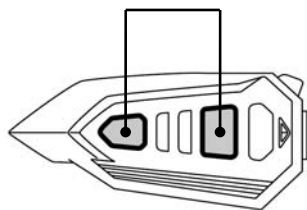
⚠注意 ※ご購入時のバッテリー残量は少ない状態です。初めて使用する際は充電を行ってからご使用することをおすすめします。
※リチウムイオンバッテリーは、特性上約 300 回程度は繰り返し充電が可能ですが、それ以降は徐々に性能が低下します。使用時間が通常の半分程度になったらバッテリーの交換が必要となります。

2．バッテリー残量の警報

バッテリーの残量が少なくなった場合は、スピーカーから警告音が「ピピピ」と３回電子音が鳴り、お知らせします。

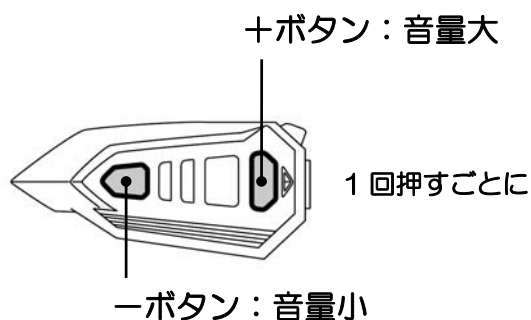
電源の ON/OFF

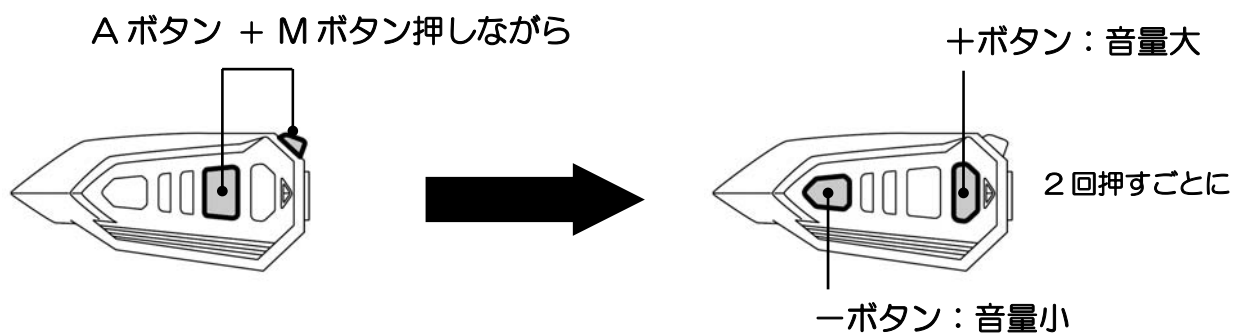
電源の ON：LED ランプが青色に点灯するまで A ボタンとーボタンを同時に約２秒間押します。
電源がＯＮになり音声案内機能により VOX 機能の設定状態が流れます。
※グループ番号設定後は、自分のメンバー番号も流れます。

電源の OFF：LED ランプが赤色に点灯するまで A ボタンとーボタンを同時に約２秒間押します。
電源が OFF になり音声案内機能によりファームウェアのバージョンとバッテリー残量が流れます。

※使用する前に必ず充電を行ってください。
充電は、製品に付属の充電用 USB ケーブルを、PC もしくは市販の AC 充電器（出力 DC5V）等に接続します。
充電中は LED が赤色に点灯し、充電が完了すると LED が青色に点灯します。

ボリュームコントロール

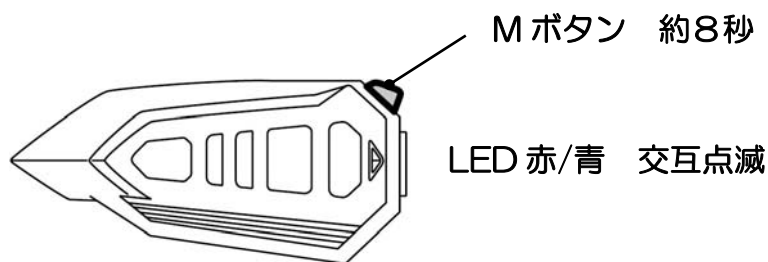
スピーカーから音声または音楽が聞こえている時に＋ボタンを押すごとに音量が大きくなり、－ボタンを押すごとに音量が小さくなります。

⚠注意　※音量調整は、接続機器ごとに音量を調整します。

音声案内の音量調整

音量を大きくする：Ａボタンとボタンを押しながら＋ボタンを２回連続で押す。
音量を小さくする：Ａボタンとボタンを押しながら－ボタンを２回連続で押す。

Bluetooth ペアリング（携帯電話と接続する）

1. 電源 ON 状態で M ボタンを約８秒間長押しし、LED ランプが赤/青の交互点滅に変化していることを確認します。
2. 携帯電話が Bluetooth 機器と接続できる状態（ペアリングモード）にします。

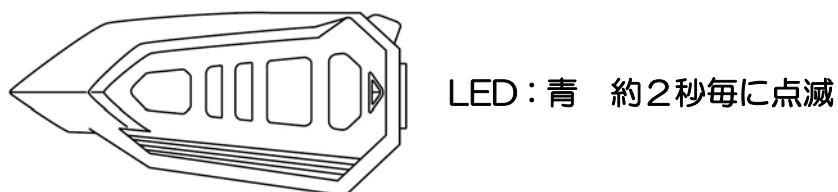
⚠注意 ※詳細はペアリング機器の取扱説明書を参照するか、携帯電話の販売店または販売元へお問い合わせください。弊社へお問い合わせいただいてもご回答できない場合があります。予めご了承ください。
※接続する Bluetooth 機器が Bluetooth 標準規格に適合していても、相手の危機の特性や仕様によっては接続できない、操作方法や表示・動作が異なる、データのやり取りができないなどの現象が発生する場合があります。

3. 携帯電話が本製品を見つけると携帯電話の画面に「COOLROBO-EasyTalk3」の名称が表示されます。携帯電話に表示された「COOLROBO-EasyTalk3」を選択し接続します。
4. ※パスワードを要求される場合は、〈0000〉（ゼロを４つ）を入力してください。
5. ペアリングが成功すると LED ランプが青色点滅に変化しペアリングは完了です。

ペアリング開始

接続する機器をペアリングできる状態にします。

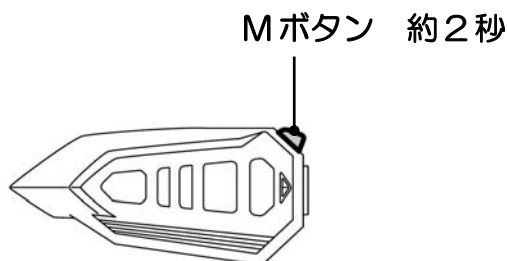
携帯電話

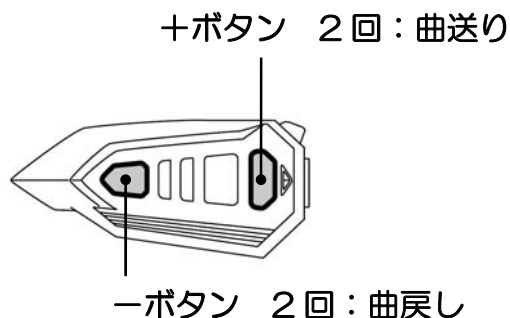
・「COOLROBO-EasyTalk3」を選択
※ピンコードが必要な場合：００００

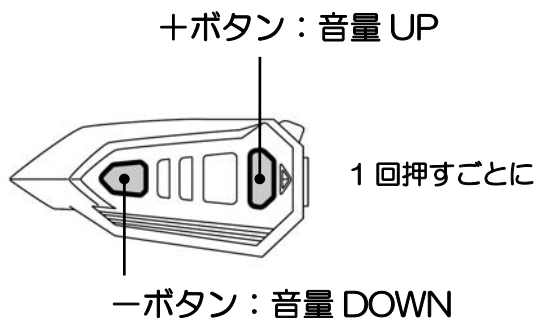
ペアリング完了

音楽再生の操作

本製品は、接続したミュージックプレイヤーの音楽の再生、停止、や曲送り、曲戻しおよびが可能です。

●再生/停止

再生/停止：M ボタンを約２秒間長押しします。

●曲送り/曲戻し

曲送り：＋ボタンを上２回連続で押します。
曲戻し：　－ボタンを上２回連続で押します。

●音量の調整

ボリューム調整は、音楽や音声がスピーカーから聞こえている時のみ調整が可能です。＋ボタンまたは－ボタンを１回ずつ押すごとに「プピッ」と電子音が鳴り、15 段階でボリュームの調整が可能です。ボリュームが最大および最小時に「ピー」と電子音が鳴り、ボリュームの最大と最少をお知らせします。

⚠注意 ※ボリューム調整は、接続している機器ごとに調整する必要があります。

携帯電話の操作

本製品は、携帯電話を 2 台接続可能です。いずれの携帯電話でもハンズフリー通話が可能です。接続時に最終発信した携帯電話の「ボイスコントロール機能」および「最終発信履歴へのリダイヤル」が可能です。

●着信設定切り替え

※電源が ON の状態で全ての接続機器が待機状態の時に設定可能。

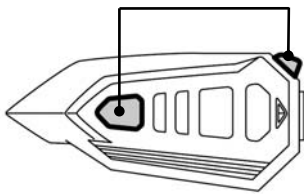
・自動着信設定

携帯電話の着信が約１０秒間続くと、自動的に着信応答し通話が可能です。
通話を拒否したい場合は、M ボタンを約３秒間長押しすることで着信拒否することができます。

・手動・音声着信設定

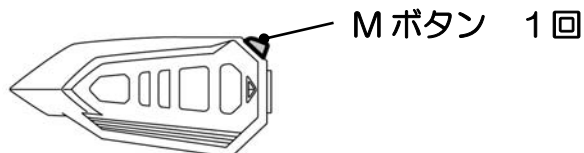
音声を使用して着信応答が可能です。
（例：携帯電話着信時にマイクにむかって「もしもし」と発話→自動で着信応答）
携帯電話の呼び出しが約 16 秒間続くと、自動的に着信を拒否します。

携帯電話を２台接続している場合､1 台目の携帯電話で通話中であっても A ボタンを１回押すことで、２台目の携帯電話に応答することが可能です。
２台目の携帯電話の通話終了まで、１台目の携帯電話は保留状態となり、２台目の携帯電話の通話が終了すると自動で１台目の通話へ戻ります。

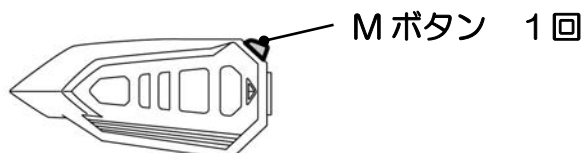
－ボタン ＋ M ボタン　約８秒

・手動着信設定
　着信時に M ボタンを操作またはマイクに向かって話す
・自動着信設定
　着信したら約 10 秒で自動で応答

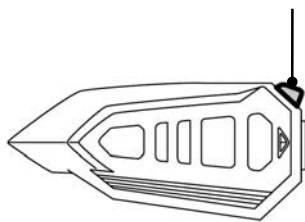
●電話応答

携帯電話着信時に M ボタンを１回押すと通話が開始されます。

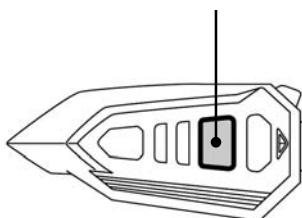
M ボタン　1 回

●電話を切る

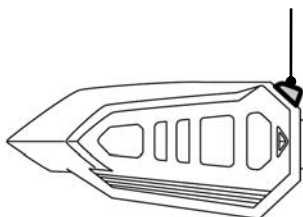
通話中に M ボタンを１回押すと通話が終了します。

M ボタン　1 回

●応答拒否（自動着信設定時）

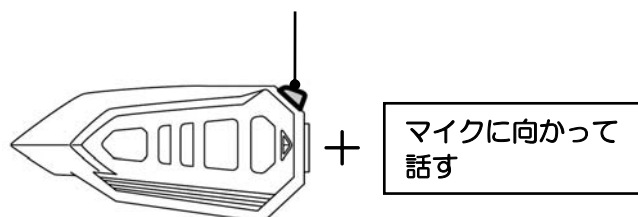
通話を拒否したい場合は、M ボタンを約３秒間長押しすることで着信拒否することができます。

※手動着信設定時は着信１６秒後に自動的に拒否します・

●電話切り替え（通話の保留）※携帯電話２台接続時

携帯電話を２台接続している場合、1 台目の携帯電話で通話中であってもＡボタンを１回押すことで、２台目の携帯電話に応答することが可能です。
２台目の携帯電話の通話終了まで、１台目の携帯電話は保留状態となり、２台目の携帯電話の通話が終了すると自動で１台目の通話へ戻ります。

●リダイヤル

M ボタンを連続で２回押すと最終発信履歴の電話番号へリダイヤルが可能です。また、携帯電話を２台接続している場合は、M ボタンを連続で３回押すと２台目の携帯電話の最終発信履歴の電話番号へリダイヤルが可能です。

●ボイスコントロール機能（iPhone の Siri 等）

M ボタンを１回押して、呼び出したい機能（iphone の siri 等）をマイクにむかって発話します。

⚠注意 ※携帯電話がボイスコントロール機能に対応している必要があります。

Bluetooth ペアリング（ナビゲーションと接続する）

●ペアリング手順（HFP プロファイルのナビゲーション）

1.電源 ON 状態で M ボタンを約８秒間長押しし､LED ランプが赤/青の交互点滅に変化していることを確認します。

2.ナビゲーションが Bluetooth 機器と接続できる状態（ペアリングモード）にします。

⚠注意 ※詳細はペアリング機器の取扱説明書を参照するか、ナビゲーションの販売店または販売元へお問い合わせください。弊社へお問い合わせいただいてもご回答できない場合があります。予めご了承ください。

※接続する Bluetooth 機器が Bluetooth 標準規格に適合していても、相手の危機の特性や仕様によっては接続できない､操作方法や表示•動作が異なる､データのやり取りができないなどの現象が発生する場合があります。

3.ナビゲーションが本製品を見つけるとナビゲーションの機器選択画面に「COOLROBO-Easy-Talk3」の名称が表示されます。携帯電話に表示された「COOLROBO-Easy-Talk3」を選択し接続をします。

※パスワードを要求される場合は、〈0000〉（ゼロを４つ）を入力してください。

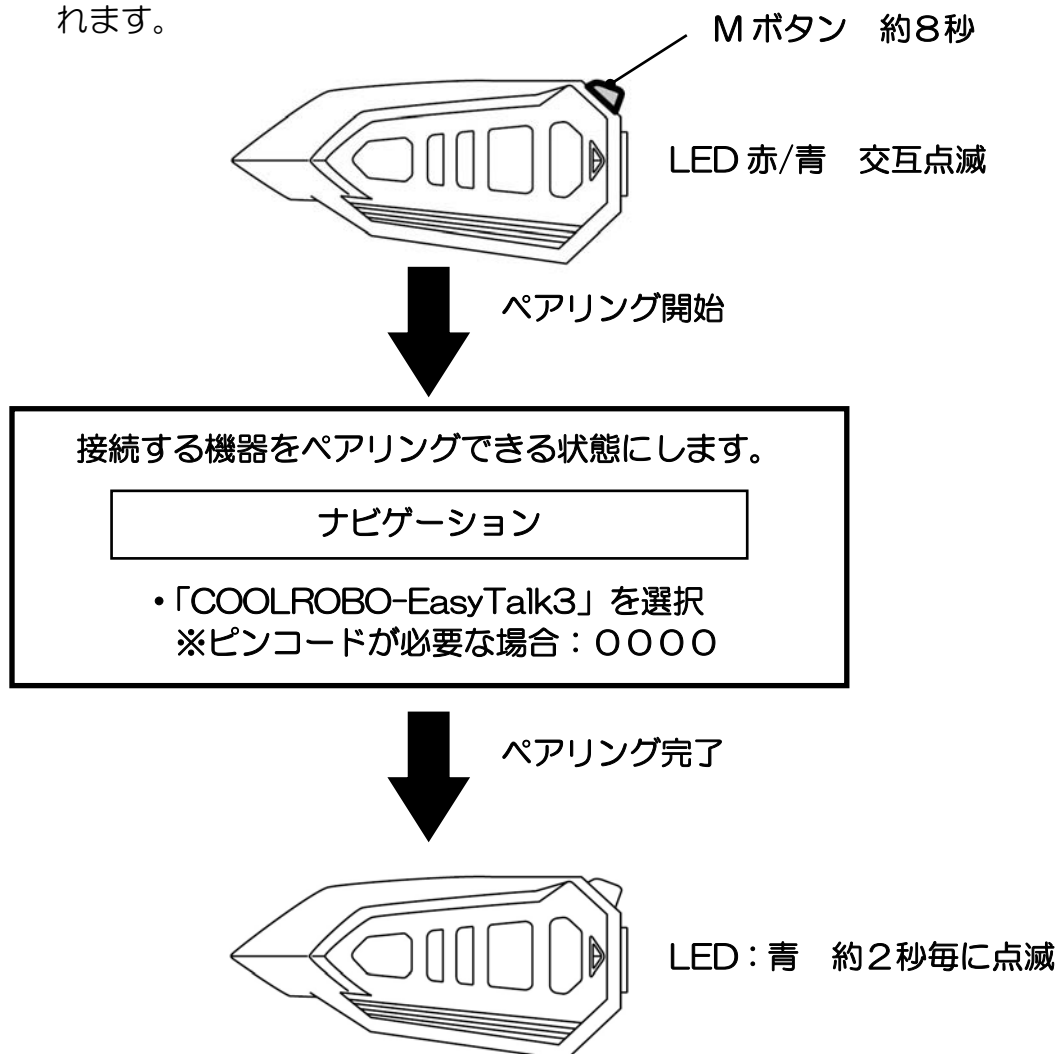
4.ペアリングが成功すると LED ランプが青色点滅に変化しペアリングは完了です。

⚠注意 ※A2DP プロファイルで接続するナビゲーションの場合は３. の操作が省略されます。

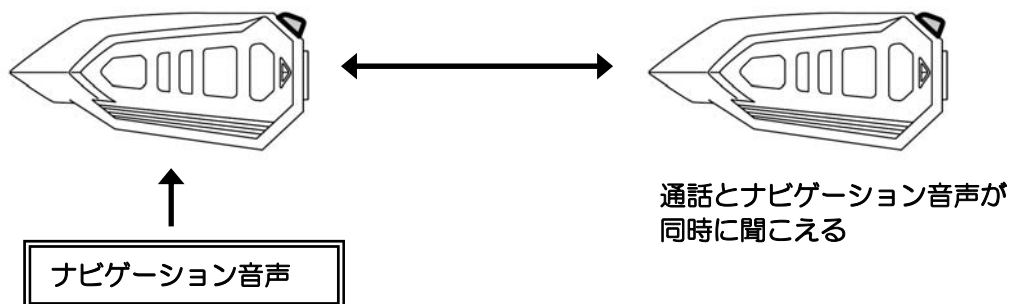
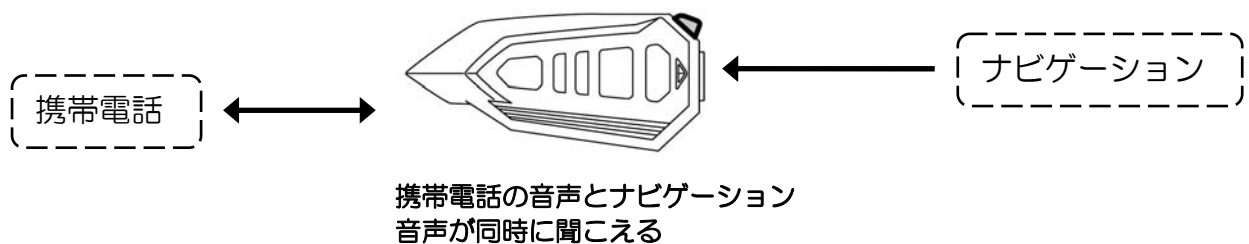
接続する機器をペアリングできる状態にします。

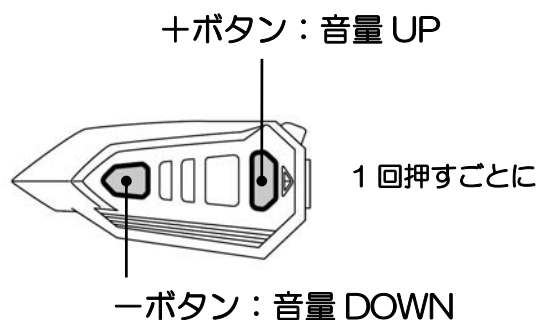
ナビゲーション

•「COOLROBO-EasyTalk3」を選択
※ピンコードが必要な場合：０００００

ペアリング完了

ナビゲーションの使用方法

ナビゲーションとのペアリングが成功すると、ナビゲーションの音声案内を聞くことができます。ナビゲーションの音声案内と、インターコム（通話）が重なった時は、ナビゲーションの音声を通話中の両者で通話をしながらナビゲーションの音声を同時に聴くことが可能です。また、ナビゲーションの音声案内と、携帯電話の通話が重なった時は、ナビゲーションの音声案内と携帯電話の通話を同時に行うことが可能です。
※HFP プロファイル使用のナビゲーションに限ります。A2DP プロファイル使用のナビゲーションは、同時に音声を聴くことができません。

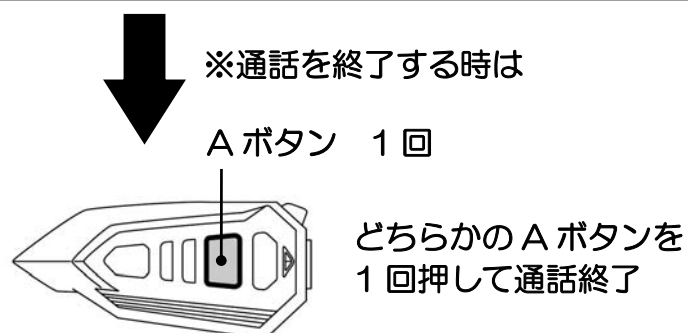
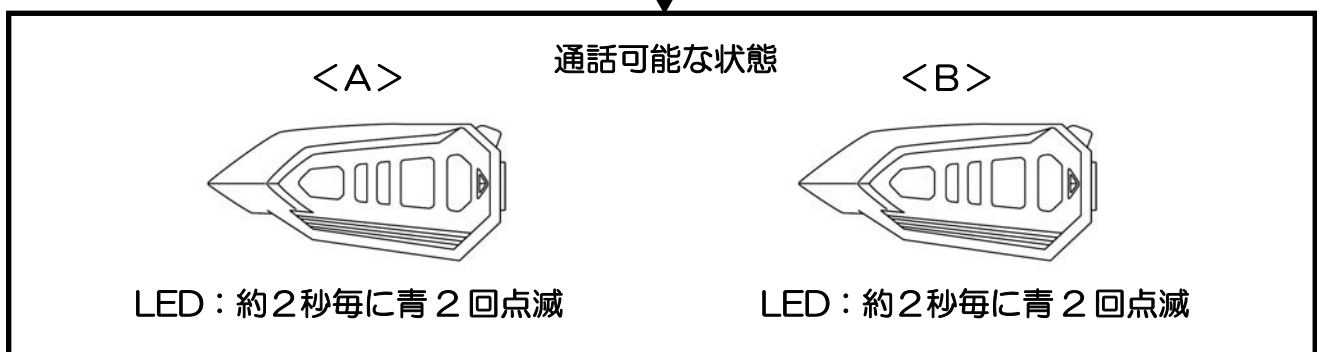
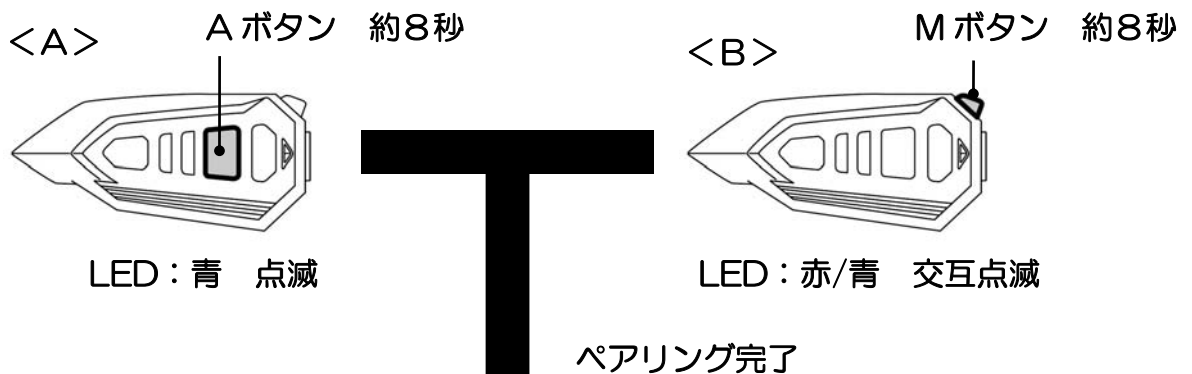
●インターコム通話中に携帯電話に着信があると

●携帯電話で通話中にナビゲーションの音声が重なると

●音量の調整

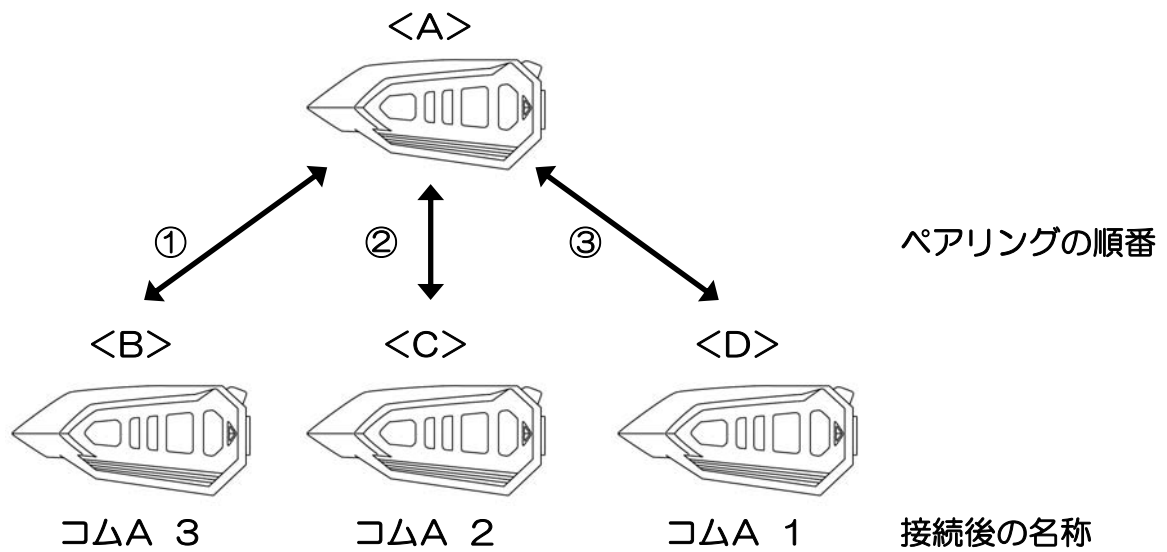
ボリューム調整は、音楽や音声がスピーカーから聞こえている時のみ調整が可能です。＋ボタンまたは－ボタンを１回ずつ押すごとに「プピッ」と電子音が鳴り、15 段階でボリュームの調整が可能です。ボリュームが最大および最小時に「ピー」と電子音が鳴り、ボリュームの最大と最少をお知らせします。

⚠注意 ※ボリューム調整は、接続している機器ごとに調整する必要があります。

本体同士のペアリング（インターコムのペアリング方法）

Ａボタンと M ボタンを操作することにより CLOOROBO Easy Talk３同士のペアリングが可能です。ペアリングが成功すると 2 台間のインターコム(通話)が可能です。最大３台までのペアリングすることができペアリングした順番の新しい順に１台目「コムA １（ワン）」、２台目「コムA ２（ツウ）」、３台目「コムA ３（スリー）」と登録されます。

●ペアリング手順

1. １台目（A）の電源をＯＮ状態にします。A ボタンを LED ランプが青色で高速点滅するまで（約８秒間）押し続けます。
2. ２台目（B）の電源をＯＮ状態にします。M ボタンを LED ランプが赤/青色交互に点滅するまで（約８秒間）押し続けます。
3. ペアリングが成功すると２台の LED ランプは青色に変わり、約 2 秒ごとに２回ずつ点滅します。この時、音声案内機能により「コム A ペアリング完了」と案内が流れます。ペアリングが完了すると通話状態となります。通話ができることを確認した後にどちらか片方の COOLROBO Easy Talk3 の A ボタンを１回押すと「通話を終了します」と案内が流れ待機状態になります。通話を再開するにはどちらか片方の COOLROBO Easy Talk3 の A ボタンを１回押すと「コム A1（ワン）を選択」と案内が流れ、その後「ププ」と電子音が聞こえたら通話状態になります。

本体のマルチ接続例 ※最大３台まで接続可能

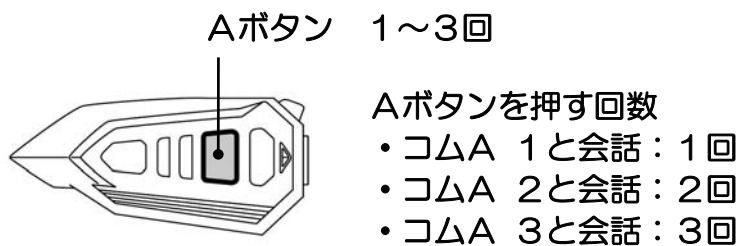
例 １：（A）に（B）、（C）、（D）の順番でペアリングを行った場合、（A）への登録順番は新しく登録された順に（D）、（C）、（B）となります。

インターコムの使用方法

インターコム（通話）モードは２種類あります。
・マニュアルモード（ボックス機能オフ）
・VOX コントロールモード

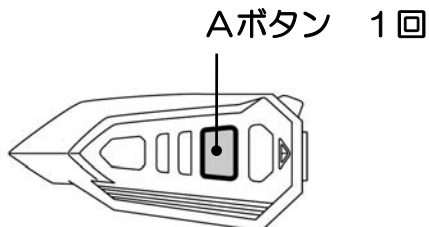
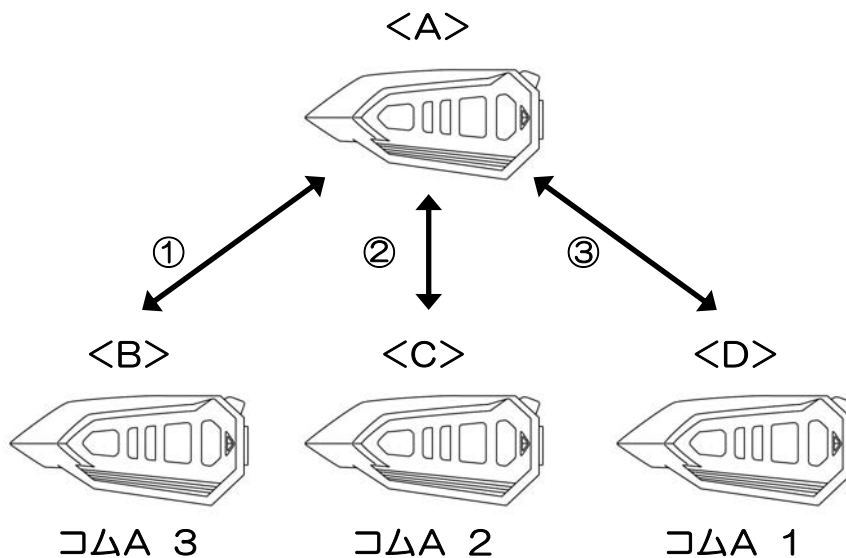
１対１通話 （マニュアルモードの使用方法）

●通話の開始

Ａボタンを押して通話を開始します。Ａボタンの押す回数は登録した順番によって異なります。最後に登録したものと通話するにはＡボタンを１回押し、２番目に登録したものと通話するにはＡボタンを２回押します。３番目に登録したものと通話するにはＡボタンを３回押します。Ａボタンを押した回数により１回「コムＡ １（ワン）を選択」、２回「コムＡ ２（ツウ）」、３ 回「コムＡ ３（スリー）」と案内が流れます。その後「ププ」と電子音が聞こえたら通話状態になります。

Aボタンを押す回数
・コムA 1と会話：1回
・コムA 2と会話：2回
・コムA 3と会話：3回

●通話の終了

通話中のどちらか一方のＡボタンを１回押すと「通話を終了します」と案内が流れ通話が終了します。

Aボタン　1回

インターコム使用例　（マニュアルモード）

状態１：（A）に（B）、（C）、（D）の順番でペアリングを行います。
（A）へ登録した順番は、最後に登録したのは（D）、２番目に登録したものは（C）、１番目が（B）の状態。

状態 ２：（D）と（A）のペアリングを行います。その後、（D）と（B）をペアリングし、（D）へ登録した順番は新しく登録された（B）、（A）の順番なります。

上記 1.2 の状態では：

1.（A）から（D）へ通話する際は A ボタンを１回押します「コム A1（ワン）を選択」と案内が流れ（A）（D）通話状態となります。
この時、（D）が携帯電話を使用中または他のインターコムと通話中の場合は、（A）には音声案内機能により「接続ができません」と案内が流れ通話ができません。
その後（D）が携帯電話の使用または他のインターコムとの通話が終了すると（D）に「呼び出しがありました」と案内が流れます。

2.（D）から（A）へ通話する際は A ボタンを２回押します。「コム A2（ツウ）を選択」と案内が流れ（D）（A）通話状態となります。
この時、（A）が携帯電話を使用中または他のインターコムと通話中の場合は、（D）には音声案内機能により「接続ができません」と案内が流れ通話ができません。
その後（A）が携帯電話の使用または他のインターコムとの通話が終了すると（D）に「呼び出しがありました」と案内が流れます。

3.（D）から（A）へ通話する際に（A）が通話距離範囲内にいなかった場合は、音声案内機能により「コム A2（ツウ）との接続に失敗しました」と案内が流れます。

4.（D）から（B）へ通話する際は A ボタンを 1 回押します。

１対１通話 （VOX コントロールモードの使用方法）

ＶＯＸコントロールモードを利用して通話の開始と終了自動で行うことができます。
VOX 機能を使用すると電源を ON にしてからマイクへ話し掛けるだけで通話が起動し、すぐに通話状態に入ることができます。約１５秒間会話が無い状態が続くと通話を自動で終了します。通話終了後に会話を再開すると自動的にインターコムを起動し、通話が再開できます。VOX コントロールモードを使用中でも、手動操作は有効です。A ボタンを１回押すと通話は終了します。
ＶＯＸコントロールモードでは、オートバイに乗る際のさまざまな環境騒音に応じて、音声のレベル感度を４種類（LEVEL1、2、3、4）の中から自由に選択できます。
VOX コントロールモードの操作につきましては、下記「VOX コントロールモードの通話操作」を確認ください。

●VOX コントロールモード切り替えおよび音声レベル感度調整

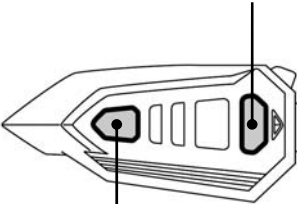
※工場出荷時の設定で既に VOX コントロールモードは OFF に設定されています。

ＶＯＸコントロールモードおよびマニュアルモードの設定が選択できます。
ＶＯＸコントロールモードでは音声レベル感度を４種類（LEVEL1、2、3、4）の中から選択できます。LEVEL1 が最もマイク感度が良い状態で、LEVEL4 が最もマイク感度が悪い状態です。使用環境に応じて選択してください。

・設定方法
設定を変更する際は、COOLROBO Easy Talk3 本体の電源がＯＮ状態で携帯電話の音楽再生を OFF にして、全ての接続機器を接続待機状態にしてください。
＋ボタンまたは－ボタンを連続２回押すことで設定を変更します。設定が変更されると音声案内機能により変更された設定を案内します。

・VOX 機能 LEVEL １
LEVEL １設定時は＋ボタンを２回連続で押すと LEVEL ２に変更されます。
設定が変更されると音声案内機能により「VOX 機能レベルツウ」と案内します。

・VOX 機能 LEVEL ２
LEVEL ２設定時は、－ボタンを２回連続で押すと LEVEL １に変更されます。
設定が変更されると音声案内機能により「VOX 機能レベルワン」と案内します。
LEVEL ２設定時に＋ボタンを２回連続で押すと LEVEL ３に変更されます。
設定が変更されると音声案内機能により「VOX 機能レベルスリー」と案内します。

・VOX 機能 LEVEL ３
LEVEL ３設定時は、－ボタンを２回連続で押すと LEVEL ２に変更されます。
設定が変更されると音声案内機能により「VOX 機能レベルツウ」と案内します。
LEVEL ３設定時に＋ボタンを２回連続で押すと LEVEL ４に変更されます。
設定が変更されると音声案内機能により「VOX 機能レベルフォー」と案内します。

・VOX 機能 LEVEL ４
LEVEL ４設定時は、－ボタンを２回連続で押すと LEVEL ３に変更されます。
設定が変更されると音声案内機能により「VOX 機能レベルスリー」と案内します。
LEVEL ４設定時に＋ボタンを２回連続で押すと VOX 機能オフに変更されます。設定が変更されると音声案内機能により「VOX 機能オフ」と案内されます。

マニュアルモード（VOX 機能オフ）の状態から、−ボタンを２回連続で押すと VOX コントロールモード（VOX 機能 LEVEL 4）に変更されます。

⚠注意 ※通話が不安定になったり、雑音が多く入る場合は、一度すべての COOLROBO Easy Talk3 の電源を OFF にしてから再接続することで症状が改善されることがあります。

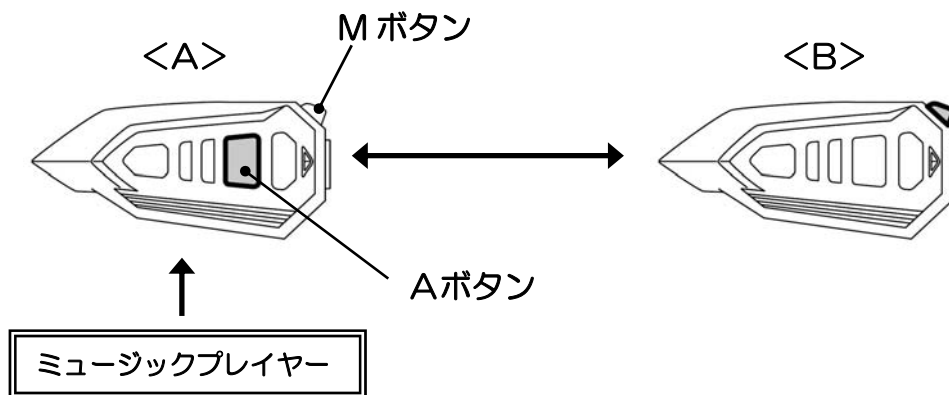
＋ボタン　２回：感度 DOWN

２回押すごとに
１レベル変更

−ボタン　２回：感度 UP

＋	−	音声レベル感度	感度
↓		VOX 機能レベル１	感度 良い
↓	↑	VOX 機能レベル２	⬍
↓	↑	VOX 機能レベル３	
↓	↑	VOX 機能レベル４	感度 悪い
	↑	マニュアルモード	

※電源が ON の状態で全ての接続機器が待機状態の時。

インターコム使用例 （VOX コントロールモード）

状態：

1.（A）に（B）を１対１でインターコムペアリングを行います。
2.（A）にミュージックプレイヤーをペアリングします。
3.（A）の A ボタンを押して通話状態にします。
4.通話中に（A）の M ボタンを押して音楽を再生し、（A）（B）両方で音楽が聞こえる状態にしておきます。

上記の状態では：

1.（A）と（B）が１個のミュージックプレイヤーの音楽を共有しています。

2.（A）または（B）のどちらかがマイクに向かって話しかけると、音楽が停止し「プッ、ププ」の電子音とともに VOX コントロールモードで自動的にインターコムが起動し通話が開始されます。
この時、（A）は音楽を聴きながら会話が可能ですが、（B）は音楽が聞こえなくなり会話だけになります。

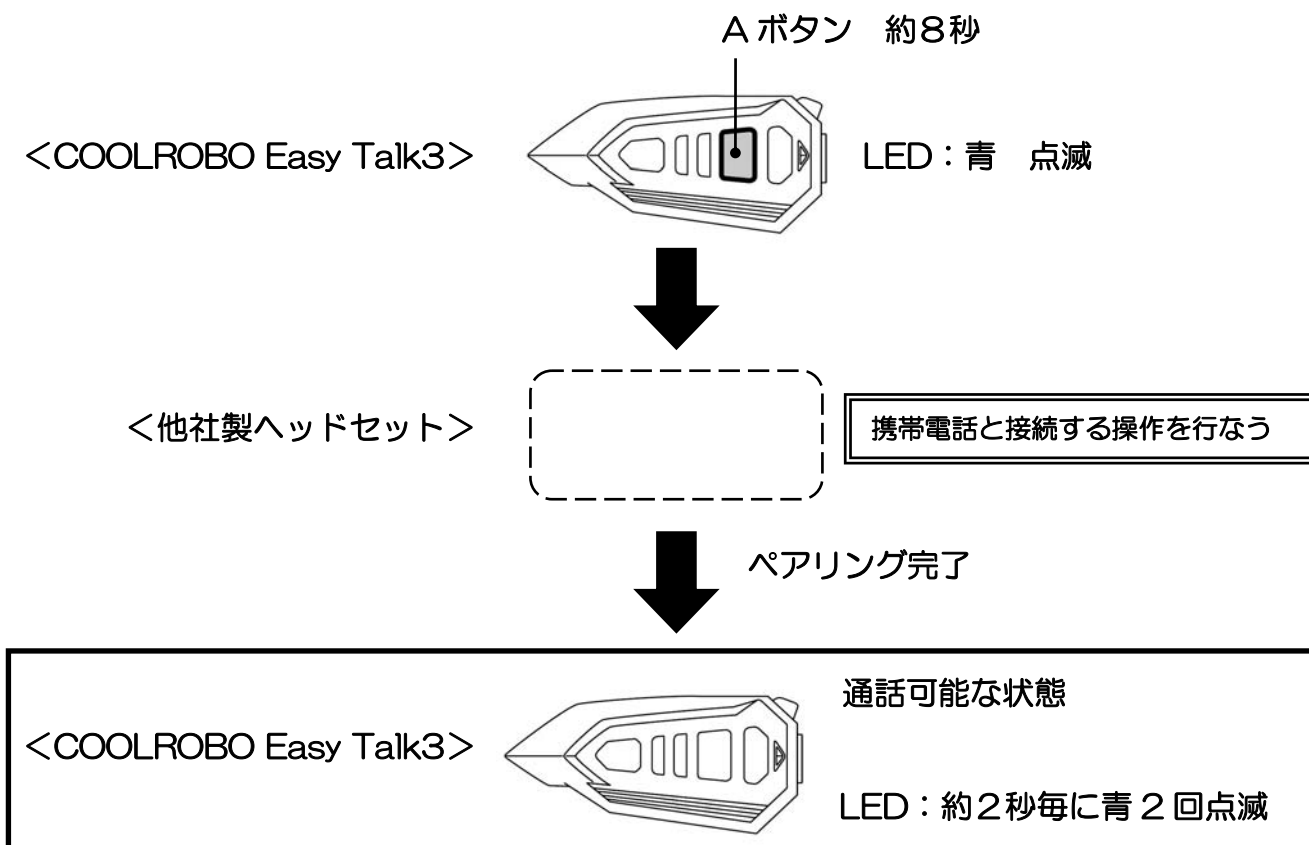
3.両者の会話が約１５秒間無かった場合は、「通話を終了します」の音声案内が聞こえて通話は自動で終了されます。通話が終了すると（B）の音楽が自動的に復帰します。

他社製ヘッドセットとのペアリング（ユニバーサルインターコムのペアリング方法）

COOLROBO Easy Talk３と他社製ヘッドセットとペアリングして通話が可能です。
なお、ユニバーサルインターコムでは１対１の通話のみでグループ通話はできません。

１．ペアリング手順

1.COOLROBO Easy Talk3 の電源をＯＮ状態にします。A ボタンを LED ランプが青色で高速点滅するまで（約８秒間）押し続けます。

2.接続したいヘッドセットを携帯電話と接続する操作で機器がペアリングできる状態にします。

他社製ヘッドセットとの通話

※最初の１回目は COOLROBO Easy Talk3 側から通話を開始してください。

〈COOLROBO Easy Talk3 側〉

待機中に COOLROBO Easy Talk3 のＡボタンを１回押して通話を開始します。
通話中に COOLROBO Easy Talk3 のＡボタンを１回押して通話を終了します。

〈相手ヘッドセット側〉

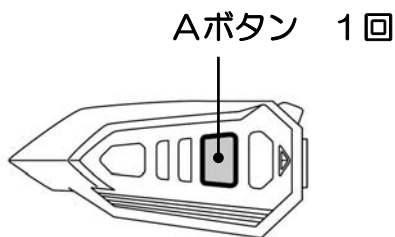
待機中に携帯電話のリダイヤル発信操作をして通話を開始します。
通話中に携帯電話の終話操作で通話を終了します。

⚠注意

※電源起動後の最初の１回目は、COOLROBO Easy Talk3 側から通話を開始してください。
※接続する機器により片側からしか呼び出しできない場合があります。
※接続する機器により通信距離の短縮、ノイズ増、作動不安定などが起こる可能性があります。

COOLROBO Easy Talk3 側

●通話の開始/終了

Ａボタン　１回

他社製ヘッドセット側

●通話の開始

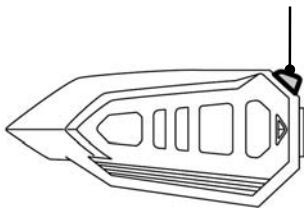
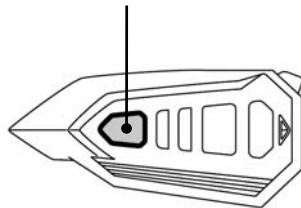
携帯電話のリダイヤル発信操作を行なう

●通話の終了

携帯電話の終話操作を行なう

ミュージックシェアリング

1. COOLROBO Easy Talk３同士でインターコム通話を開始します。
2. ミュージックプレイヤーを接続している COOLROBO Easy Talk３の M ボタンを約２秒間押して音楽を再生します。
3. 「通話を終了します」の音声案内が聞こえ、ミュージックシェアリングが開始されます。
4. ミュージックシェアを終了するには、ミュージックプレイヤーを接続している COOLROBO Easy Talk3 のーボタンを３回連続で押します。

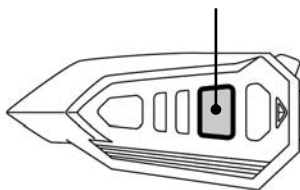
●シェアリング開始　　　　●シェアリング終了

※COOLROBO Easy Talk3 同士を１対１でインターコム接続し、通話状態にしてください

バックグランドミュージック

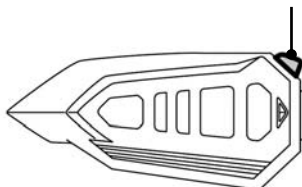
音楽を聴きながら通話をすることができます。

●バックグランドミュージック開始

ミュージックプレイヤーM ボタンで再生した後に A ボタンを１回短く押して通話を開始します。

※M ボタンを約２秒押して音楽再生
してから通話を開始

●バックグランドミュージック終了

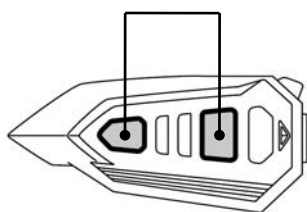
バックグランドミュージックを終了するには、M ボタンを約２秒間押して音楽を停止させます。

※通話中に音楽を停止

ペアリング情報のリセット

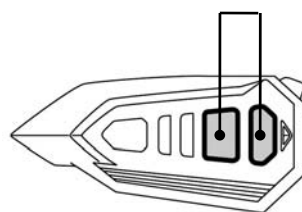
次の手順でペアリング情報を削除できます。

1. COOLROBO Easy Talk3 の電源を ON 状態にしてください。

2. －ボタンとＡボタンを同時に押し、COOLROBO Easy Talk3 の電源 OFF にします。
   赤色 LED ランプが点灯したら、－ボタンから指を離し＋ボタンと A ボタンを赤色 LED ランプが５回点滅するまで長押ししてください。
   ※A ボタンからは指を離しません。

－ボタン ＋ A ボタン　約２秒

LED 赤：電源 OFF

Ａボタンを押したまま

＋ボタン ＋ A ボタン　長押し

LED：赤　５回点滅

本体操作表

機能	ボタン
電源 ON	青色 LED ランプが点灯するまで A ボタンと－ボタンを同時に押して下さい。
電源 OFF	赤色 LED ランプが点灯するまで A ボタンと－ボタンを同時に押して下さい。
携帯電話のペアリング	電源 ON 状態で、赤/青色 LED ランプが交互点滅するまで M ボタンを押して下さい。
ナビゲーションのペアリング	電源 ON 状態で、赤/青色 LED ランプが交互点滅するまで M ボタンを押して下さい。
本体のペアリング（親側）	電源 ON 状態で、青色 LED ランプが高速点滅するまで A ボタンを押して下さい。
本体のペアリング（子側）	電源 ON 状態で、赤/青色 LED ランプが交互点滅するまで M ボタンを押して下さい。
ボリュームを大きく	＋ボタンを１回ずつ押し、ボリュームを大きく調整します。
ボリュームを小さく	－ボタンを１回ずつ押し、ボリュームを小さく調整します。
ボイスコントロール感度を高く（VOX）	音楽再生、通話起動していない状態で、－ボタンを２回連続で押します。
ボイスコントロール感度を低く（VOX）	音楽再生、通話起動していない状態で、＋ボタンを２回連続で押します。

携帯電話自動着信設定	音楽再生、通話起動していない状態で、＋ボタンと M ボタンを同時に約８秒間押します。
携帯電話 VOX コントロール手動着信設定	音楽再生、通話起動していない状態で、－ボタンと M ボタンを同時に約８秒間押します。
携帯電話音声通話	
携帯電話への応答	M ボタンを１回押す。
携帯電話を切る	M ボタンを１回押す。
携帯電話を拒否	M ボタンを約３秒間押して下さい。（もし携帯電話自動着信機能に設定していない場合、着信音が鳴った約 16 秒後には自動的に拒否します。）
携帯電話音声ダイヤル	M ボタンを１回押して発話。（携帯電話本体が音声ダイヤル機能を持っている必要があります。）
最終履歴へリダイヤル	M ボタンを連続で２回押す。
インターコム通話（携帯電話通話中はできません）	
マニュアル起動通話	A ボタンを１回、２回、３回押す。
音楽（携帯電話通話中はできません）	
再生/停止	M ボタンを約２秒間長押しする。
曲戻し	－ボタンを連続２回押します。
曲送り	＋ボタンを連続２回押します。

音声表

状態	音声案内	
バッテリー残量案内	バッテリー残量は	フルです。 80%以上です。 50%以上です。 約 25%です。 約 10%です。 ゼロです。
音声レベル感度調整	VOX 機能	レベルワン レベルツウ レベルスリー レベルフォー オフ

ペアリング	ペアリング完了 コムＡペアリング完了	
複数人通話のペアリング	メンバー	ワン　ペアリング完了 ツウ　ペアリング完了 スリー　ペアリング完了 フォー　ペアリング完了 ファイブ　ペアリング完了
複数人通話時の接続	メンバー	ワン　接続 ツウ　接続 スリー　接続 フォー　接続 ファイブ　接続
複数人通話時の個別接続終了	メンバー	ワン　接続が切れました ツウ　接続が切れました スリー　接続が切れました フォー　接続が切れました ファイブ　接続が切れました
通話相手選択時	コムＡ	ワンを選択 ツウを選択 スリーを選択
通話時	接続できません。 呼び出しがありました。 通話を終了しました。 接続が切れました。 自動再接続に失敗しました。 コムＡ　ワンとの接続に失敗しました。 コムＡ　ツウとの接続に失敗しました。 コムＡ　スリーとの接続に失敗しました。	
複数人通話時の接続失敗	メンバー	ワンとの接続に失敗しました ツウとの接続に失敗しました スリーとの接続に失敗しました フォーとの接続に失敗しました ファイブとの接続に失敗しました
複数人通話時の通話相手選択	メンバー	ワン ツウ スリー フォー ファイブ
携帯電話着信設定	自動着信 手動着信	
携帯電話の最新発信履歴リダイヤル	リダイヤル	

ミュージックプレイヤー	プレイ ポーズ 曲送り 曲戻し
バージョン情報	バージョン

製品の保証について

- 本商品の保証期間は購入日から１年間です。保証書の内容を良くお読みになり理解した上で商品をご利用ください。
- 本商品は厳重に管理された工場にて生産・管理しておりますが、万が一不良が発生した場合は、本商品のみの保証対象といたします。本商品以外の部品代金、修理工賃、整備等で発生した費用は保証対象外とさせていただきます。
- 外観上本体に大きな外傷、割れ等がある場合は、保証対象外とさせていただきます。予めご了承ください。
- 保証修理を依頼される場合は、購入日が書かれ販売店の押印がされた保証書または、購入が証明できるお買い上げレシート等を用意し、お買い求めの販売店または、当社お客様相談窓口までご連絡ください。ご連絡無く商品をお送りいただいても受付できない場合がありますのでご注意ください。
- 購入日が書かれ販売店の押印がされた保証書または、購入が証明できるお買い上げレシートが無い場合、如何なる理由でも保証対象外とさせていただきます。予めご了承ください。
- 保証期間内であっても有償となる場合があります。予めご了承ください。

東証JASDAQ上場
株式会社デイトナ
〒437-0226　静岡県周智郡森町一宮 4805
URL: http://www.daytona.co.jp
◎デイトナ商品についてのご質問、ご意見は
「フリーダイヤルお客様相談窓口」0120-60-4955 まで